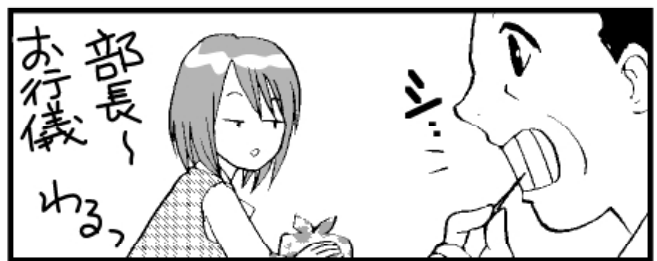
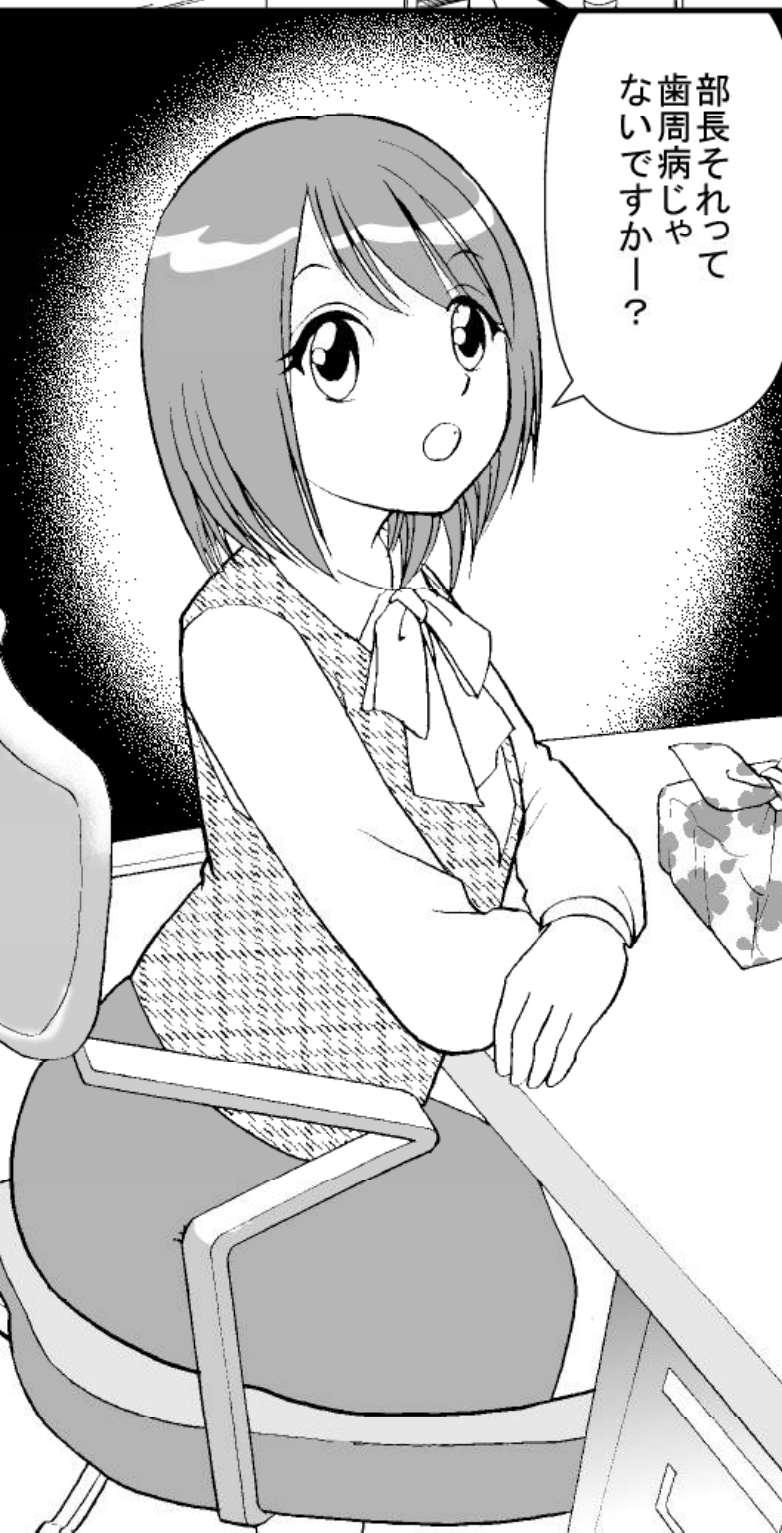
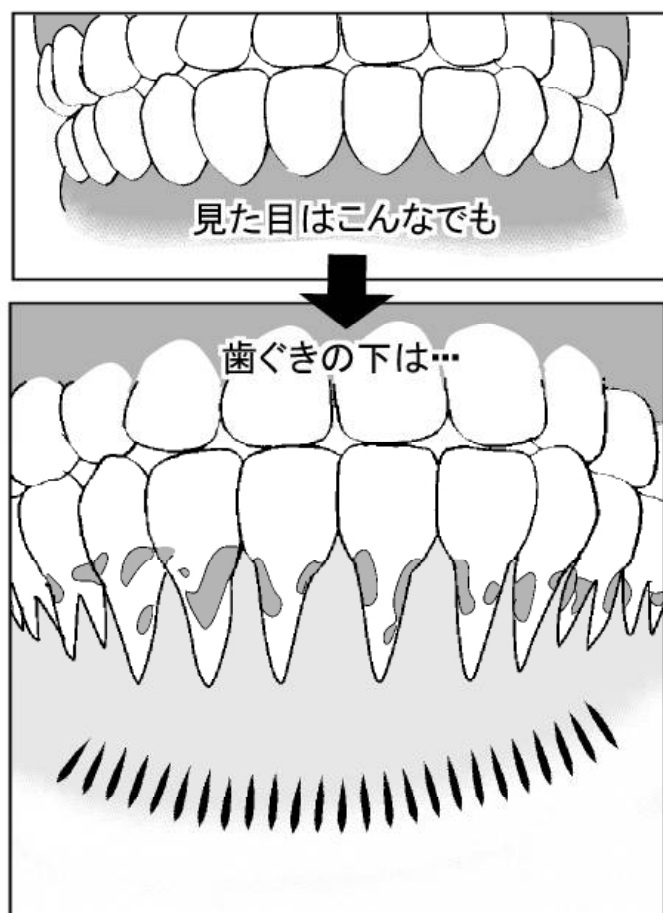
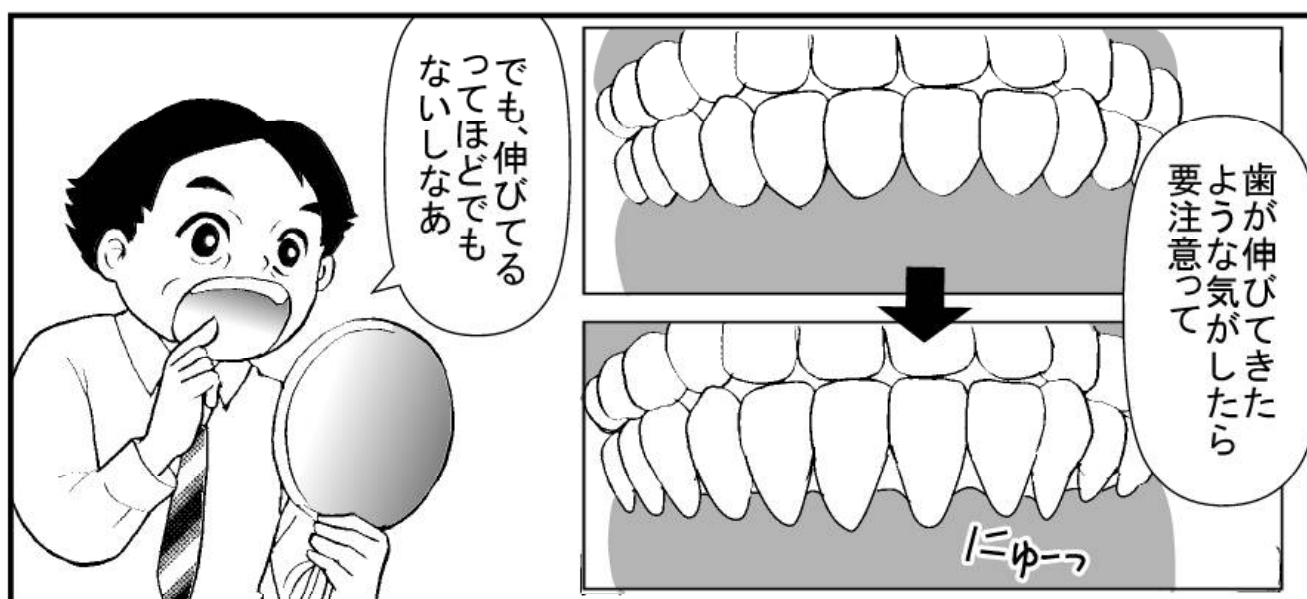


歯 周病と糖 尿病



社団法人 長崎県歯科医師会







私と部長と
主任と先輩と
新人君の5人
いたら

なんとって今
日本人の80%が
歯周病って言わ
れてますから

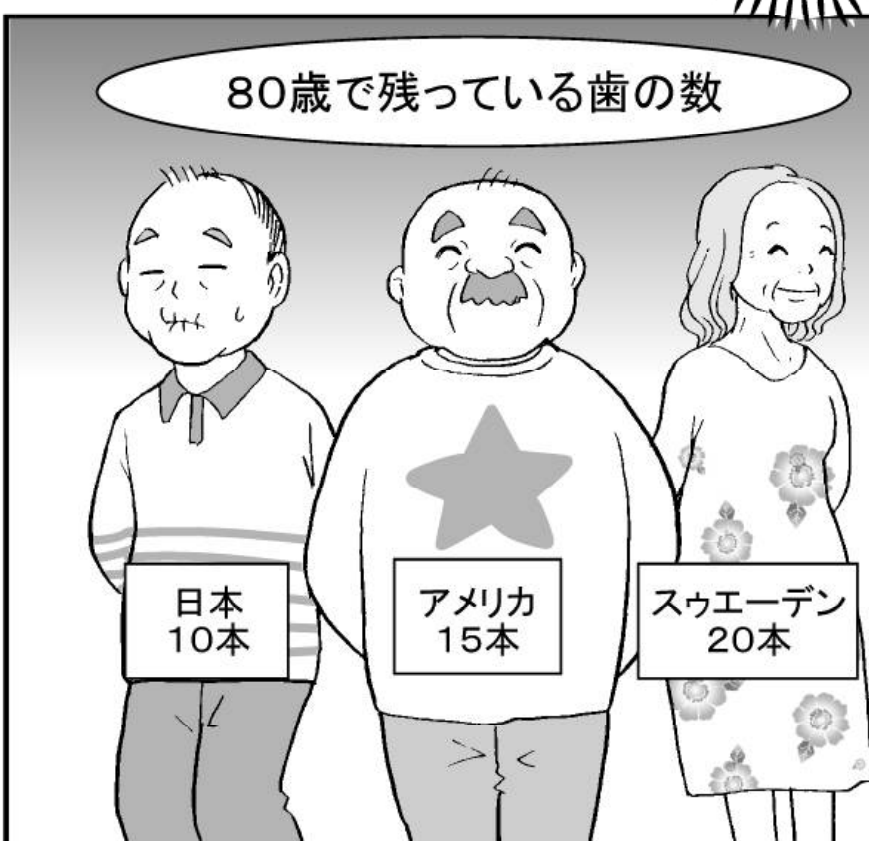
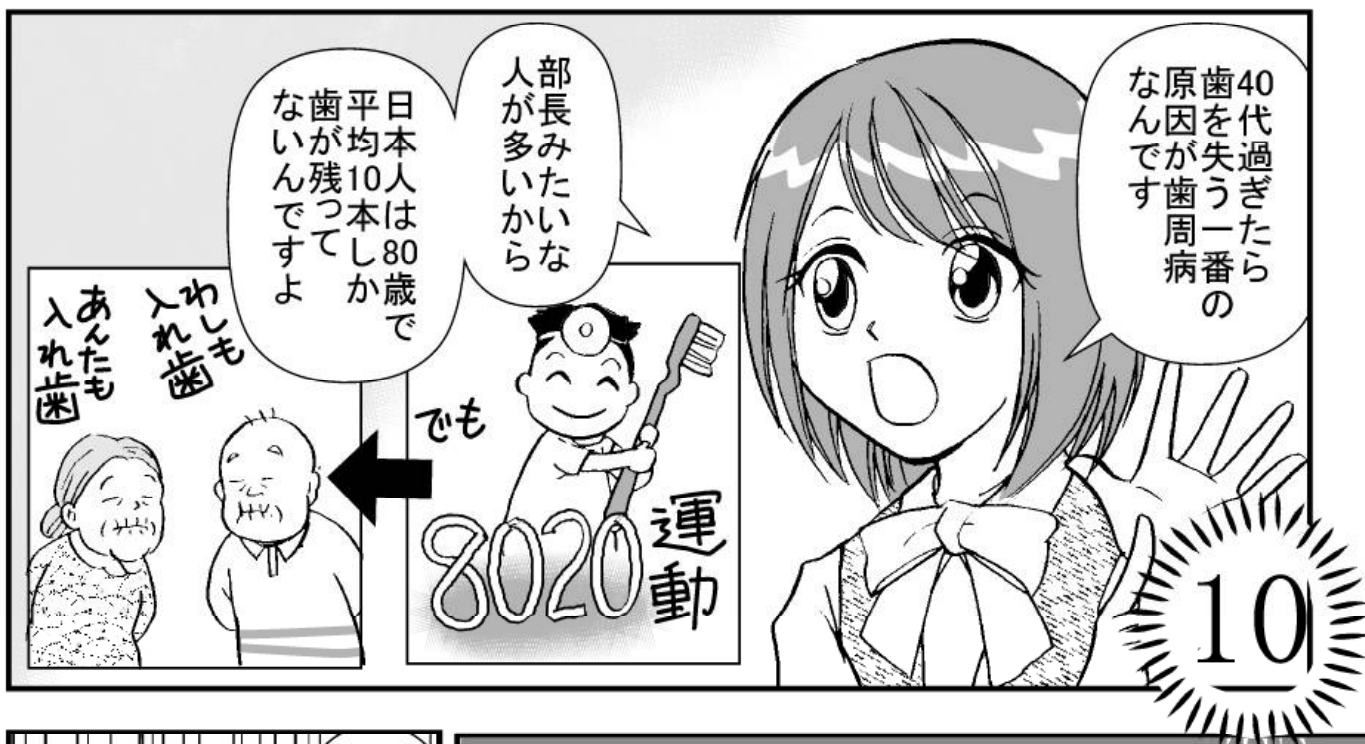


歯周病じゃない
のは私一人だけ！



私はちゃんと
3ヶ月に1回
歯石取りと検診に
通ってますからね

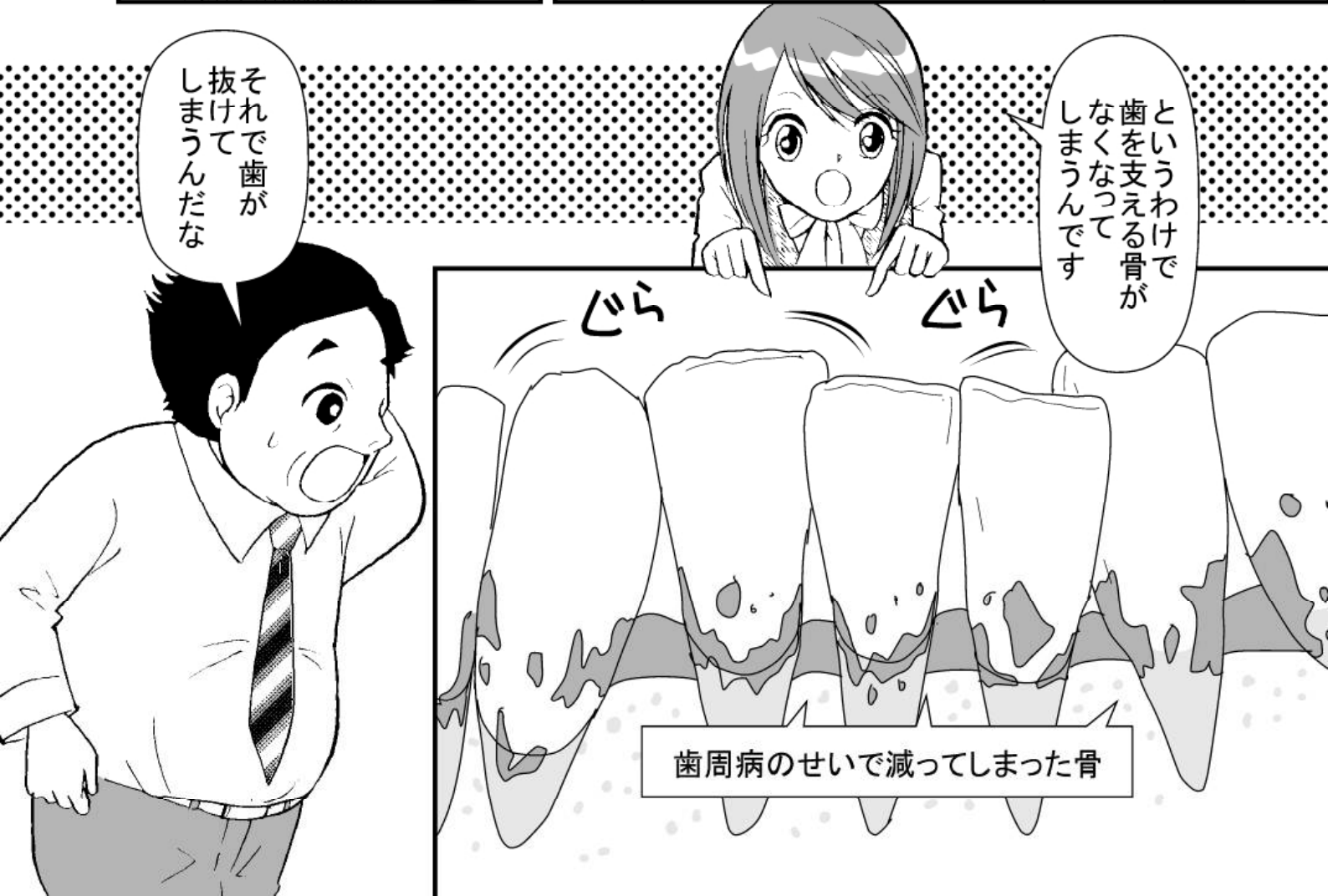


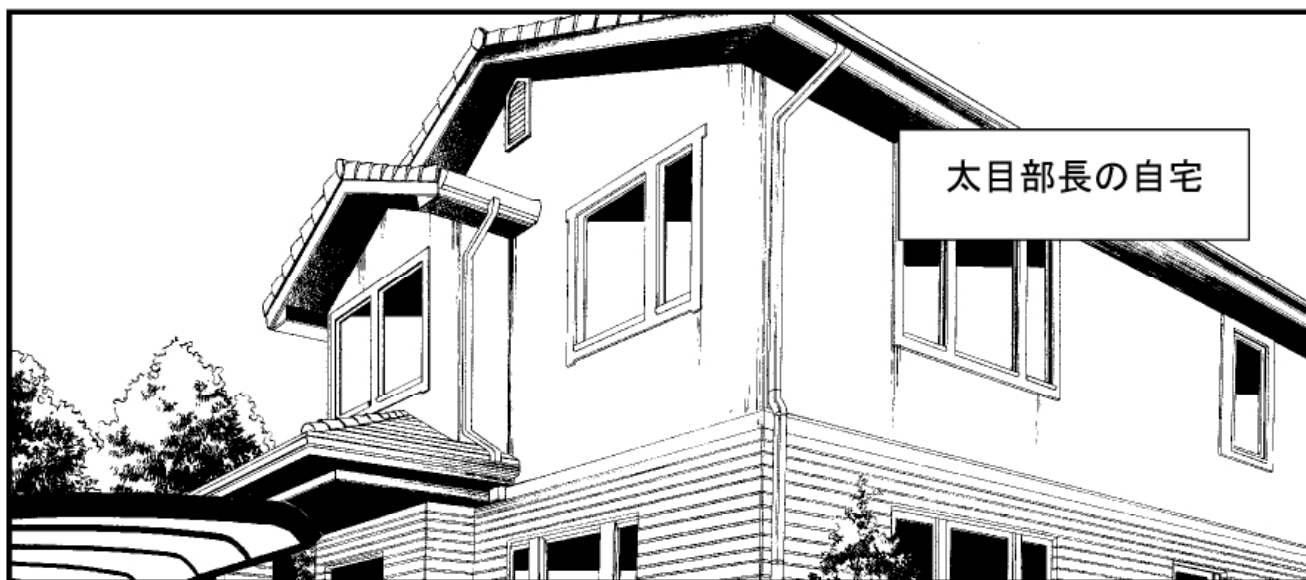
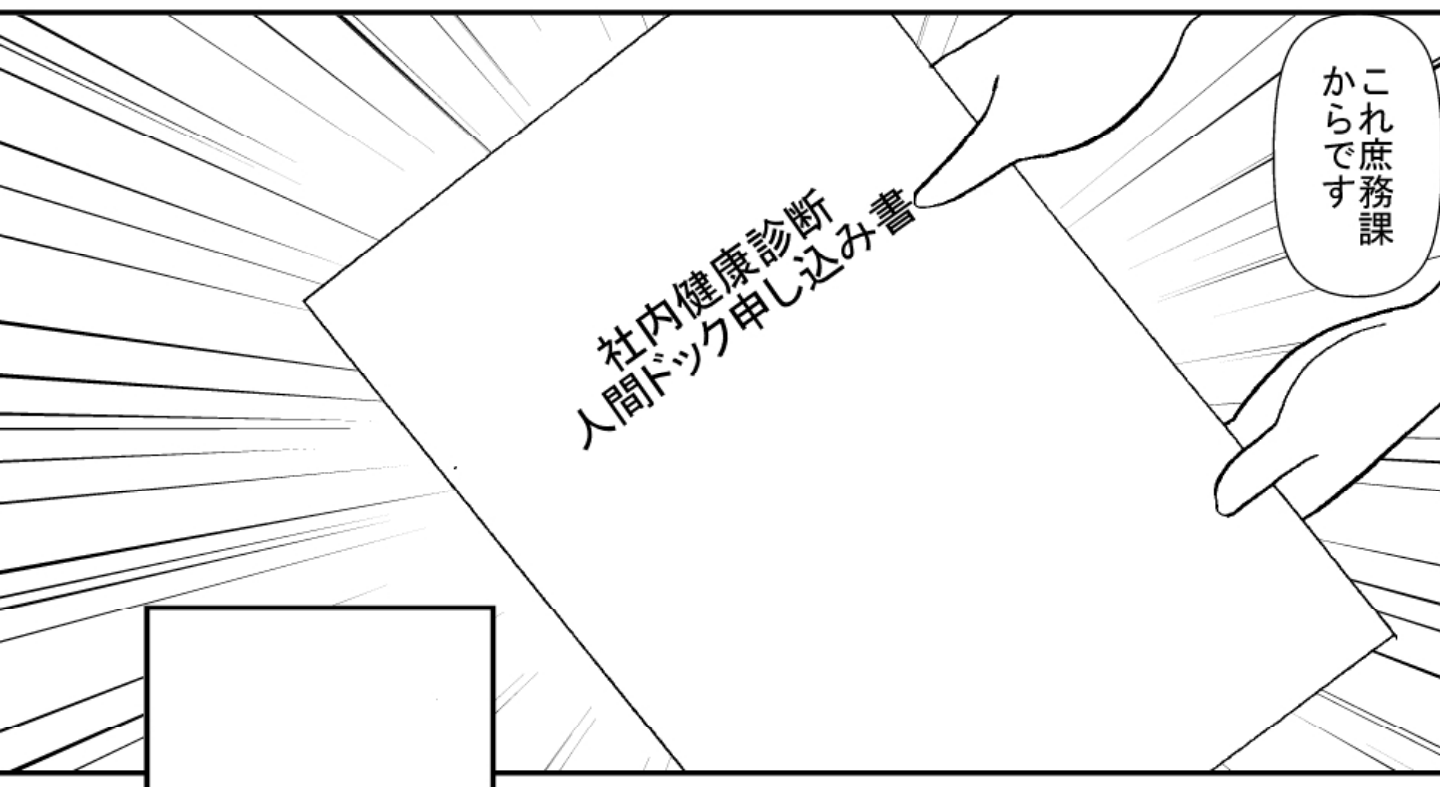


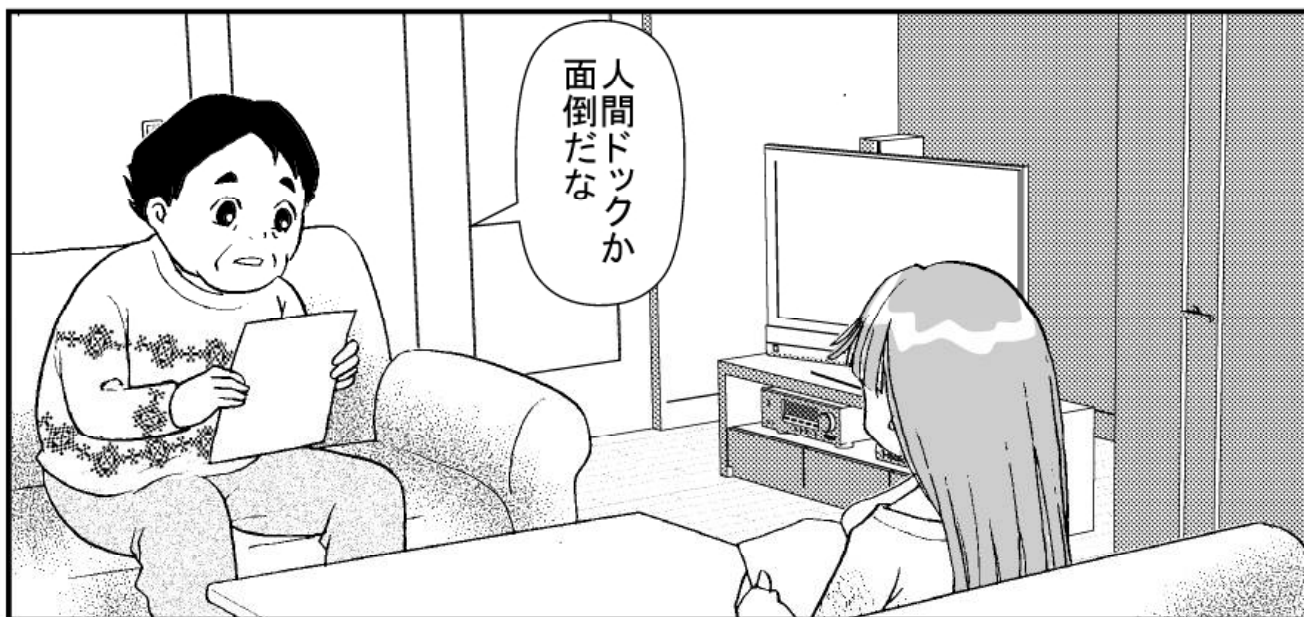


歯周病にかかるとは
部長のお口の中では
こんなことが
おこるんです











ポチと

タマの中で

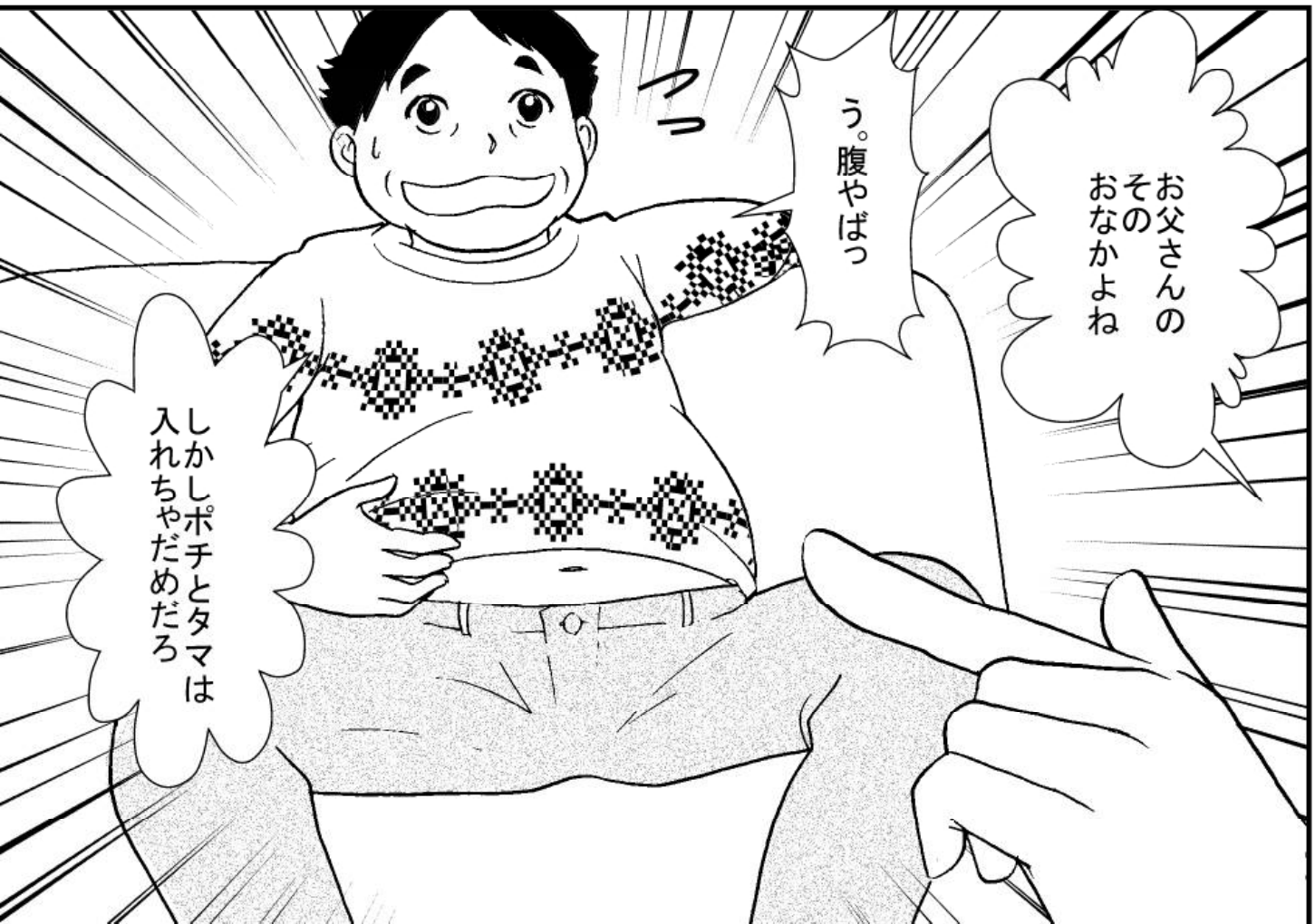


一番糖尿病にかかりそうなのって

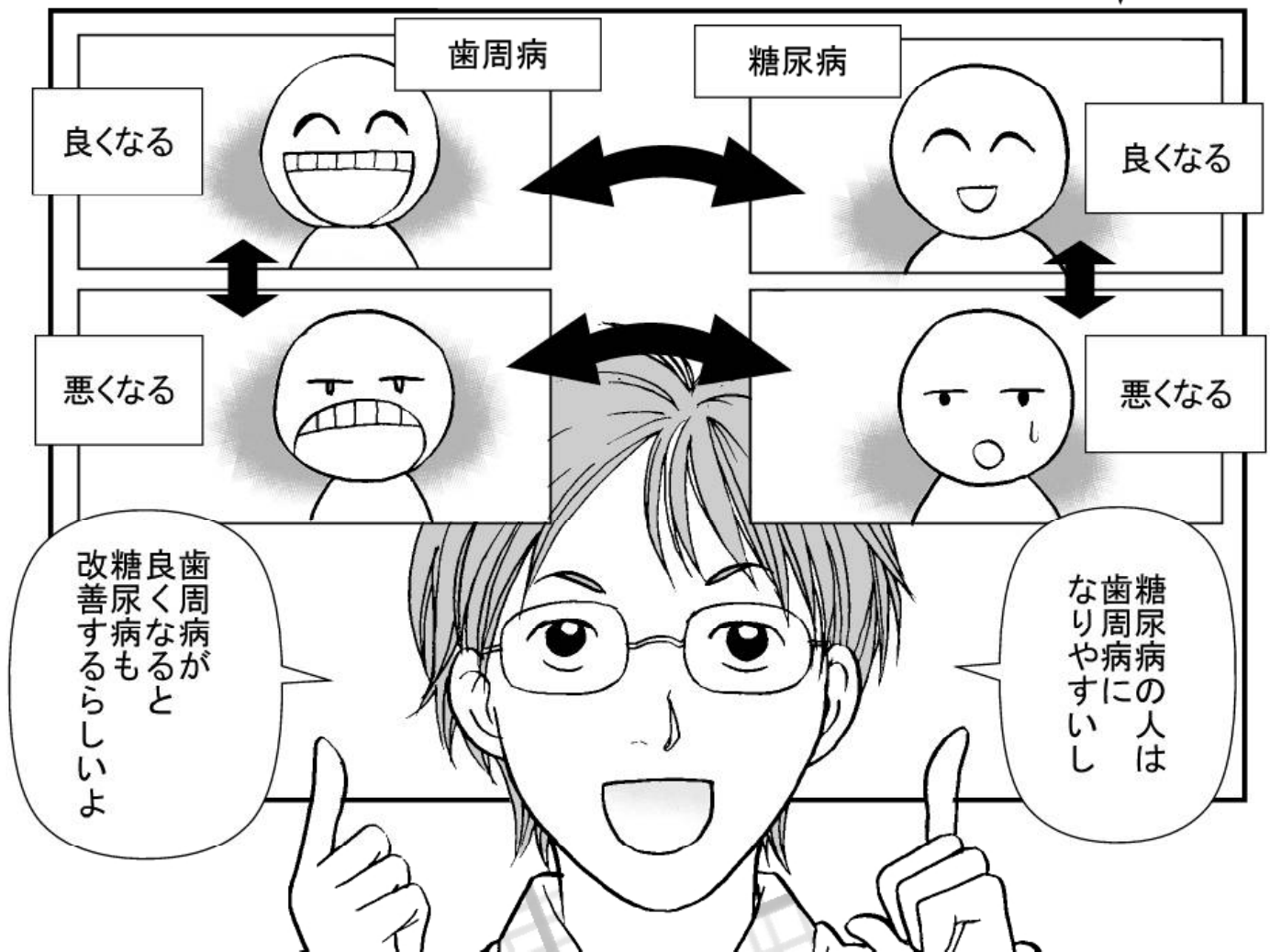
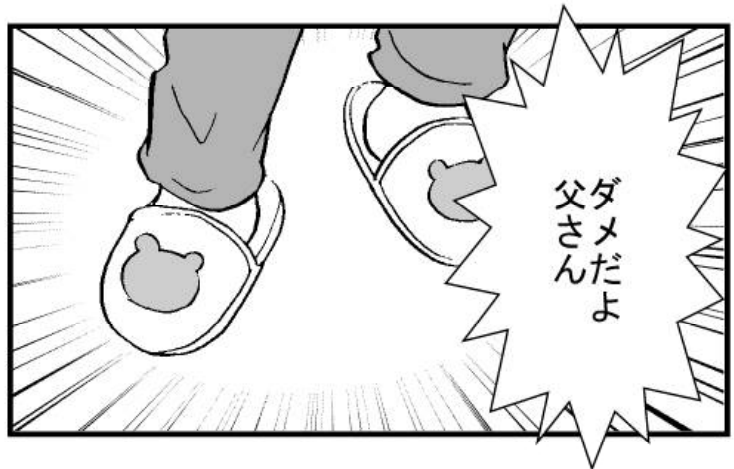
6人に一人って
言ったら
私とお父さんと

お兄ちゃんと

お母さんと







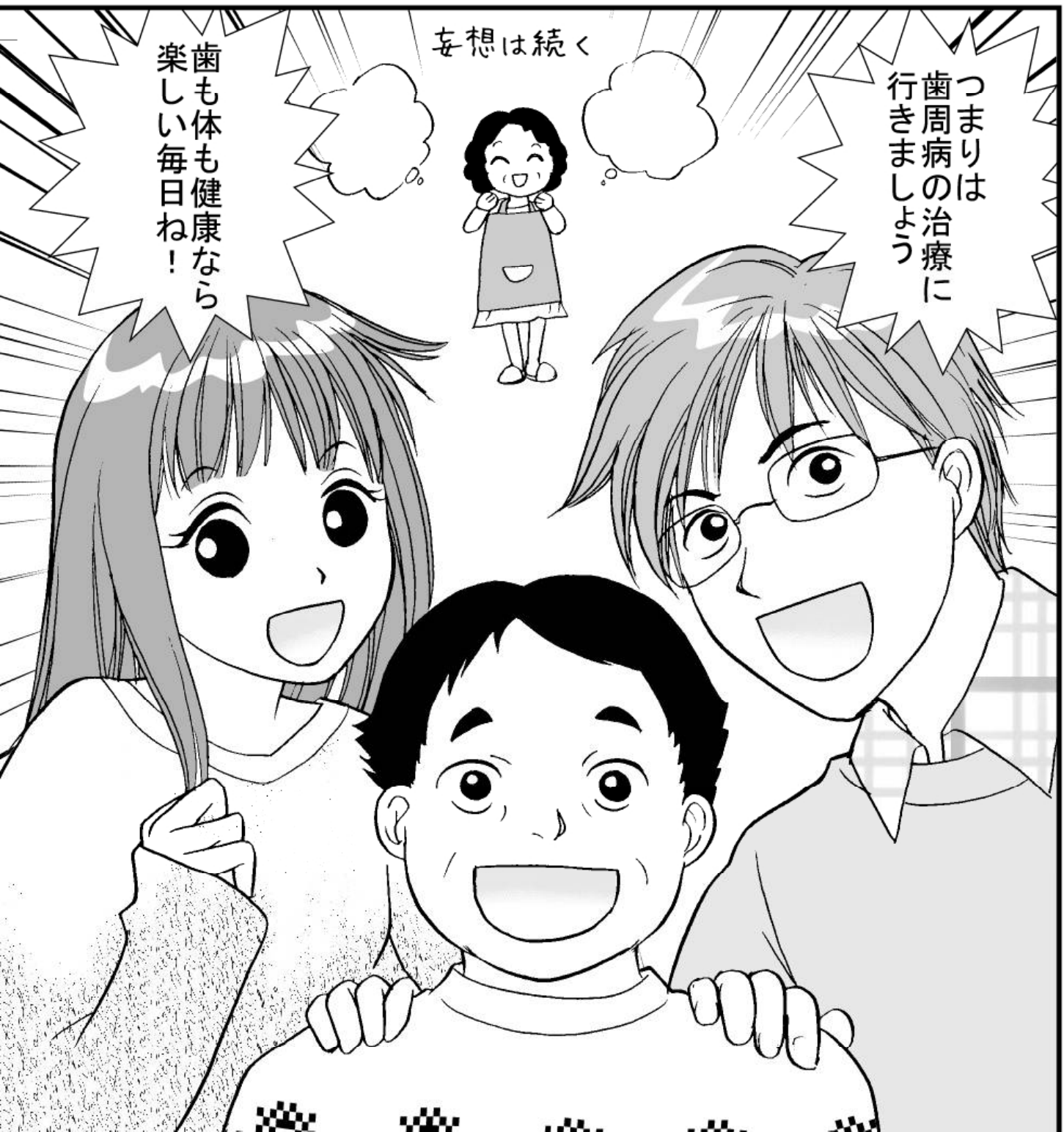












あとがき

「糖尿病と歯周病」の漫画をお読みになっていかがでしたでしょうか。

歯周病について、あるいは歯周病と糖尿病の相互関係について初めて知ったという方、ご自身が糖尿病だから歯周病がなかなか治りにくいんだと改めて実感された方、さまざまな感想があると思います。

歯周病は糖尿病と同様に慢性疾患で、成人の約80%が何らかの歯周病を患っているといわれています。また、糖尿病が強く疑われる人は約820万人、糖尿病の可能性を否定できない人は約1050万人と、成人の5〜6人に1人は、糖尿病や糖尿病発症前の状態であることが明らかになっています。

以前から糖尿病が悪化すると歯周病も悪化することが指摘され、歯周病は糖尿病の第6の合併症といわれるようになりました。そして最近の研究で、歯周病と糖尿病は双方向に関連していると報告されています。

平成15年に施行された健康増進法のなかで、歯周病は高血圧、糖尿病、がんなどとともに生活習慣病の一つに認定されました。内科で毎月血圧、血糖値を測定するのと同様に歯科医院で定期的なお口の中のメインテナンスを受けることが当然となったのです。

定期的なメインテナンスを受けることで歯周病を予防し、口腔環境を整え、歯周組織の健康を維持していくことができます。

糖尿病に罹患している方は当然のことながら、糖尿病に罹患していない方も生涯にわたり、ご自分の歯で食べるためにも、ぜひ定期的なメインテナンスを受けていただきたいのです。

今回の漫画の主人公である太目部長も、定期的なメインテナンスを受けることで自分の歯で食事ができる喜びを感じているのではないのでしょうか。

最後に発刊に当たり、貴重なご助言を賜りました長崎大学歯学部歯周病学分野 原 宜興教授、長崎原爆病院内分泌・糖尿病内科副部長 福島徹也先生に厚く御礼を申し上げます。



■監修

長崎大学歯学部歯周病学分野
長崎原爆病院内分泌・糖尿病内科
社団法人 長崎県歯科医師会

教授
副部長
学術担当理事

原
福島
村橋

宜興
徹也
秀夫

■発行

平成23年10月

社団法人 長崎県歯科医師会
〒852-8104 長崎市茂里町3-19
TEL:095-848-5311

■参考文献

財団法人8020推進財団
一般財団法人サンスター財団
ジョスリン糖尿病センター

歯周病と生活習慣病の関係
歯周病と糖尿病のお話
糖尿病と口腔保健

■イラスト

株式会社 デントスタイル